

【人間健康学群】カリキュラムマップ(2024年度入学生用)

2023 12

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3箇まで													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
		3. 社会的処方の実践について考えることができる	○	○						○						

学科目	科目的主題	科目的到達目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3箇まで													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
地域福祉と包括的支援体制 I	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向を理解する。地域福祉の主体と対象を理解する。地域福祉行政の体制と役割を理解する	1. 地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について説明できる	○										○	○		
		2. 地域福祉の主体と対象について説明できる	○										○	○		
		3. 地域福祉行政の体制と役割について説明できる	○										○	○		
地域福祉と包括的支援体制 II	福祉計画の意義・目的、展開を理解する。包括的支援体制と多職種連携の意義について理解する。その中の社会福祉士、精神保健福祉士の役割を理解する。	1. 福祉計画の意義・目的、展開について説明できる	○										○		○	
		2. 包括的支援体制と多職種連携の意義について説明できる	○										○		○	
		3. その中の社会福祉士、精神保健福祉士の役割について説明できる	○										○		○	
社会保障論	社会保障制度の理念と歴史その構造の概要を医療保険と介護保険を中心に学ぶ	1. 社会保障制度の理念と歴史、社会保障の財源と費用を理解している	○	○	○											
		2. 社会保障制度における社会保障と生活保護制度の連関を理解している		○									○		○	
		3. 諸制度の特性および看護の関わりを理解している	○	○	○											
高齢者福祉	高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について理解する。高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度を理解する。社会福祉士としての支援について理解する。	1. 高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について説明できる	○													○
		2. 高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度について説明できる	○													○
		3. 社会福祉士としての支援について説明できる	○										○		○	
子ども家庭支援論	子育て家庭の現状を理解し、子育て家庭の多様なニーズに応じた支援について理解する	1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的、支援体制を理解する	○										○	○		
		2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。	○										○	○		
		3. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。	○										○		○	
ソーシャル・マネジメント原論	社会(ソーシャル)の問題解決を目的とする諸活動を概観し、ソーシャル・マネジメントの基礎的概念を学ぶ	1. ソーシャル・マネジメントの基礎概念を理解している	○										○		○	
		2. 主体の違いによるソーシャル・マネジメントの差異や特徴を理解している	○											○		
		3. 自らの生活の中にあるソーシャル・マネジメントを説明できる	○										○		○	
地域公共政策	地域社会に影響を及ぼす公共政策の立案プロセスや事例、評価方法を理解する	1. 公共政策が決定される立案プロセスを理解している	○	○												
		2. 公共政策の事例や評価方法を理解している			○											
		3. 公共政策が地域に与える影響を理解している			○									○		
社会と環境	多様な環境問題を理解した上で、地域の特色に応じた持続可能な環境まちづくりについて学ぶ	1. 私たちの生活に関係する身近な環境問題について理解している	○									○				
		2. 環境に配慮したまちづくりの具体的な実践例を理解している			○								○			
		3. 地域の特色に応じた持続可能な環境まちづくりを提案することができる											○		○	
ソーシャルビジネス	社会問題の解決に取り組むソーシャルビジネス(NPOや社会的企業等による実践)の可能性と課題を理解する	1. ソーシャルビジネスの特徴や手法、現代社会における意義や役割を理解している	○										○			
		2. ソーシャルビジネスの可能性と課題を理解している	○	○												
		3. ソーシャルビジネスの狙い手として自らを捉え、関わり方について自分なりのイメージを持っている											○	○	○	
ソーシャル・ビジネス演習	社会問題の解決に取り組むソーシャルビジネスの可能性と課題について事例を通して学ぶ	1. ソーシャルビジネスの特徴について理解している	○	○												
		2. 現代社会におけるソーシャルビジネスの意義や役割を理解している										○		○	○	
		3. ソーシャルビジネスの可能性と課題を理解している												○	○	
社会心理学入門	社会心理学とそのアプローチ法について初步的知識を習得する	1. 対人魅力・化粧行動・自己に関する研究の基礎知識を修得できる	○													
		2. 実証的データに基づいて人間の心理や行動を理解できる										○				
		3. 社会心理学のアプローチ法を理解できる										○				
臨床心理学入門	臨床心理学の簡単な歴史とその背景とともに、身近な話題を通して心の構造やその働きを理解する	1. 臨床心理学の簡単な歴史とその背景を理解する	○	○												
		2. 臨床心理学の目的や心理臨床の知見に触れ、心の構造の理解を深める										○				○
		3. 精神発達理論における各年代の発達課題とその危機を理解する										○				○
発達心理学入門	発達心理学の基礎的な知識を習得し、子どもの発達過程や学びについて理解する	1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する	○													
		2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体化や発達に即した援助の基本となる子どものへの理解を深める。	○													○
		3. 乳幼児期の子どもの学びについて基礎的な知識を習得し、保育における人との関わりや体験、環境の意義を理解する。	○	○												
青年心理学	青年期の発達と心理及び青年期特有の問題を理解する	1. 青年心理学に関する主要な理論を理解できる	○		○											
		2. 青年期の身体的变化、知的発達、自我発達、情緒、対人関係について理解できる	○									○			○	
		3. 現代における青年期特有の問題について理解し、自己理解を深める			○									○	○	
子どもと人間関係	領域「人間関係」の内容及び乳幼児期の子どもの人間関係について理解し、子どもに対する援助や環境構成について考える	1. 領域「人間関係」の基本的内容を理解する	○													
		2. 乳幼児期の人との関わりの発達過程を理解し、ふさわしい援助や環境構成について考えることができる	○											○		
		3. 実技を通して、子どもの人間関係を育む力を養う	○											○		
学習・言語心理学	学習心理学及び言語心理学に関する基本的な知識を習得する	1. 人の行動が変化する過程を理解する	○													
		2. 学習心理学に関する基礎概念と理論を理解する	○													
		3. 言語の習得における機序を理解する	○													
産業・組織心理学	職場における問題に対して必要な心理に関する支援や、組織における人の行動について学ぶ	1. 職場における問題(キャリア形成に関することを含む)に対して必要な心理に関する支援について理解する	○											○		
		2. 組織における人の行動について理解する	○											○		
		3. 職場におけるリーダーシップなどの人間関係について関する理論を理解する	○											○		

学科目	科目的主題	科目的到達目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3箇まで													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
環境心理学	人と環境の相互作用について理解する	1. 嫌悪環境における人に心や行動の変化とその対応について理解する	○													
		2. 国際化の波が押し寄せる中、異文化適応や地球市民といった国際社会での対応について理解する	○	○											○	
		3. 地球温暖化などの時事問題に触れ、人間の未来への正と負の遺産について考察し、その対策を理解する	○	○												
子ども家庭支援の心理学	生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解し、子ども家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭が抱える課題や子どもの精神保健とその課題についても理解する。	1. 生涯発達に関する基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する	○	○												
		2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する		○										○		
		3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題及び子どもの精神保健とその課題について理解する。			○										○	
生命科学の基礎	生命科学の基礎知識を身につける	1. 人体・食品成分としての元素について理解している	○	○												
		2. 人体の仕組み(主に消化管)の基礎を理解している	○	○												
		3. 数的処理に必要な基本的な数学知識を身につけている	○	○												
食品学Ⅰ	食品中の様々な構成成分について理解する	1. 食品の一般成分について種類、構造、性質を理解している		○												
		2. 食品の嗜好成分について種類、構造、性質を理解している		○												
		3. 食品の物性、食品成分の変化と相互作用について理解している		○												
食品学Ⅱ	食品(原材料、加工品)の利用特性について理解する	1. 植物性食品、動物性食品の特性について理解している		○												
		2. 発酵食品、油脂、調味料、嗜好飲料の特性について理解している		○												
		3. 保健機能食品が健康に与える影響について理解している		○												
食品衛生学	食の安全について理解する	1. 食品・食事の安全・衛生管理について理解している		○												
		2. 食品に関連する法律や制度について理解している		○												
		3. 病原性微生物・化学物質による汚染と防止について理解している		○												
食マーケティング論	食品の消費と流通について理解する	1. 食生活の変遷について理解している	○	○												
		2. フードマーケティングと食品流通について理解している		○												
		3. 食品市場と食品流通、食品消費について理解している		○												
基礎栄養学Ⅰ	栄養学の全体像を把握しつつ、その本質や根底をなす考え方を理解する	1. 栄養の概念と摂食の調節機構について理解している		○							○					
		2. 消化・吸収の機構と栄養素の体内動態について理解している		○							○					
		3. 糖質、脂質、タンパク質の栄養機能について理解している		○							○					
基礎栄養学Ⅱ	栄養素摂取の過不足と健康の関わりを理解するとともに、遺伝子発現と栄養についての理解を深める	1. ビタミン、無機質、水・電解質の働きについて理解している		○						○						
		2. エネルギー代謝について理解している		○							○					
		3. 遺伝子発現と栄養の関わりについて理解している		○							○					
応用栄養学Ⅰ	妊娠期、授乳期、新生児・乳児期、成長期、成年期、高齢期の身体的特性、スポーツや環境変化における生理的適応と、適した栄養ケア、マネジメントについて理解する	1. 栄養ケア・マネジメントの概要を理解している		○						○						
		2. 各ライフステージやスポーツ時、特殊環境下における生理的特徴・適応について説明ができる		○						○						
		3. 各ライフステージやスポーツ時、特殊環境下における栄養状態の評価や判定法、栄養ケアについて説明ができる		○						○						
公衆栄養学	個人または集団の健康維持増進及び疾病予防を目的として、人間栄養学の実践に必要な理論と方法を学ぶ	1. 公衆栄養アセスメントの目的と地域社会の実態把握のための情報収集法を理解している		○					○						○	
		2. 公衆栄養マネジメントの枠組み、公衆栄養プログラムの展開について理解している		○										○		○
		3. 我が国および諸外国の健康問題や栄養政策について理解している		○										○		○
子どもの食と栄養	子どもの特性を理解し、健康の維持・増進に貢献するための食事に必要な知識・技術を習得する	1. 栄養と食品に関する基礎知識を身につける		○									○	○		
		2. 子どもの発育・発達に応じた食生活のあり方を理解する		○									○	○		
		3. 食育の基本を学び食育の企画ができる		○									○		○	
専門演習Ⅰ	身体的健康・精神的健康・社会的健康に関わるテーマについて情報を収集・分析し、論理的に考え、課題を整理し、アプローチ手法を考えつつ検討を重ねる研究手法について理解を深める	1. 健康に関する情報を収集し、分析することができる							○	○						
		2. 研究課題を整理し、アプローチする手法を考えることができる		○										○		
		3. 課題解決のための研究計画を立てることができる												○		○
専門演習Ⅱ	女性ならではの視点から人々の健康に関するさまざまな課題解決を図る活動と連動し、地域社会の健康に向けた取り組みについて理解を深める	1. 本学の健康創造キャンパス構想や活動について理解している									○		○			○
		2. 地域社会のヘルスケアに向けた取り組みを理解している		○	○											○
		3. 研究課題を整理し、アプローチする手法を考えることができる			○				○							○
卒業研究	主体的に取り組む研究活動を通して、科学的アプローチを理解し、研究者としての態度を身につける	1. 研究課題を見つけ、研究目的を立てることができる								○						○
		2. 研究計画を立て、それを実行する事ができる								○						○
		3. 研究結果を評価・考察し、まとめて発表することができる								○				○		
女性と現代社会	女性を取り巻く社会の現状を理解し、キャリア形成に必要なスキルを身につける	1. 女性の現状をデータに基づき理解している		○				○	○							
		2. 女性を取り巻く法律を理解している		○	○											○
		3. 男女共同参画の理念を理解し活用することができる			○						○					○
女性とメディカル	健常的に生活するために必要な医療の基礎知識と各種医療系資格取得のための専門知識について学ぶ	1. 各ライフステージにおける健康に関する知識を理解している		○												
		2. 生活と医療をつなぐ仕組みについて理解している		○										○		○



学科目	科目的主題	科目的到達目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3箇まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
女性と経済	女性が自らの生涯設計をたてていくために必要な経済および金融に関する知識を学ぶ	1. 収支管理の必要性とライフプラン実現のために不可欠な資金計画の基本を理解している	○	○													
		2. 基礎的な金融知識を持ち、金融商品を適切に利用選択できる	○													○	
		3. Excelを用いて「家計のバランスシート」、「家計のキャッシュフロー表」を作成し、金利計算ができる						○							○		
女性のアントレプレナーシップ	事業創造・実践に関する概念や関連知識を幅広く学び、「企業家精神」を養う	1. 経営資源・投資対効果といった事業創造や実践に必要な関連知識を理解している	○												○		
		2. 新たなビジネスアイデアの発想に繋げるための視点や必要な知識を理解している	○												○		○
		3. 企業家として求められる意識や精神がどういったものであるかを理解している													○		○
労働と法規	労働法の体系を理解し、労働者に保障されている権利を正しく知るとともに、複雑な労働問題について考える	1. 労働法の基礎的知識を網羅的に学び、労働法の制度のしくみを理解する	○	○													
		2. 労働基準法について、概要を理解している	○	○													
		3. 労働安全衛生法について、概要を理解している	○	○													
労働社会学	日本の雇用システムと、非正規労働率の高まり、女性の職場進出、長期安定雇用の減少といった現在の様々な課題について考える	1. 日本的雇用システムと福祉や社会政策との関係について理解している	○	○													
		2. 女性、非正規労働者、高齢者など、多様な働き方の現状を理解している	○	○									○				
		3. グローバル化の中で、今後の労働のあり方を考えることができる													○		○
人体の構造と生理 I	人体を構成する細胞、組織、器官や臓器の解剖学・生理学を学ぶ	1. 人体を構成する細胞、組織、器官について理解している	○	○							○						
		2. 骨、筋、血液・リンパ系の構造と機能について理解している	○	○						○							
		3. 循環器、内分泌の構造と機能について理解している	○	○					○								
人体の構造と生理 II	人体を構成する器官や臓器の解剖学、生理学および運動力学を学ぶ	1. 消化器、呼吸器の構造と機能について理解している	○	○					○								
		2. 泌尿器、生殖器の構造と機能について理解している	○	○					○								
		3. 神経、感觉器の構造と機能について理解している	○	○					○								
生活習慣病論	生活習慣病の内容と身体活動や運動による予防的重要性について理解する	1. 生活習慣病(NCD)の定義や各病態について理解している	○	○										○			
		2. 生活習慣病予防における身体活動や運動的重要性を理解している	○	○											○		
		3. 特定保健指導の制度と運動指導者の関わりについて理解している	○	○											○		
生涯スポーツ論	生涯学習の中での運動やスポーツの役割について学ぶ	1. 生涯スポーツの概念について理解している	○								○						
		2. 生涯スポーツの背景について理解している	○								○						
		3. 生涯スポーツを支えるシステムについて理解している	○								○						
生涯スポーツ実習	生涯スポーツの有用性を理解し実践する	1. 生涯スポーツの概念について理解している	○								○						
		2. 生涯におけるスポーツへの関わり方を理解している	○								○						
		3. ニュースポーツが実践できる	○										○			○	
スポーツマネジメント論	スポーツが関わっているビジネスについて学ぶ	1. スポーツマネジメントの基礎的概念について理解している	○														
		2. マネジメントの代表的な理論について理解している	○														
		3. 実際のスポーツ場面におけるマネジメントについて理解している	○														○
社会調査法	社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的方法を修得する	1. 質問紙調査法に関する計画・実施方法を理解している	○	○													
		2. 社会調査の調査票を作成できるようになる	○		○		○										
		3. アプリで分析できようように、社会調査データをコーディングして入力、編集ができる							○	○							
社会調査実習 I	社会調査の基本的知識を学び、グループ実習を通じて初步的な調査技術を習得することを目的とする。調査企画の手順と要点を理解し、授業全体での調査テーマを設定する。グループに分かれて、グループの調査テーマを設定する。グループ内で調査目的・仮説を明瞭化する。質問項目・回答方法の設定の仕方にいて説明し、グループごとに質問項目と回答方法を検討する。調査票を作成し、グループ間で相互チェックした後、印刷、製本をする。サンプリングについて理解した後、調査対象を決定する。	1. 社会調査の基本的知識を習得できる									○						
		2. 社会調査を企画できる										○					
		3. 調査票を作成できる									○						○
社会調査実習 II	社会調査を行う基本的知識や技術を習得することを目的とする。グループに分かれて、調査を実施する。データの集計方法を説明し、調査して得られたデータをコーディングし、パソコンにデータ入力する。データ分析に用いる基本的方法について説明する。各グループの調査目的に沿って分析を決定する。パソコンを用いて分析を行い、分析結果を検討する。分析結果に基づいて報告書を作成する。グループごとに発表し、討論の後、各グループの分析結果に基づいて、調査全体としての結論を導く。	1. 社会調査の基本的技術を習得できる										○					
		2. 社会調査を実施できる										○					
		3. 調査データを分析できる										○					
データサイエンス実践	推測統計の基本的な考え方を学び、統計解析ソフトウェアを用いて実践的なデータ分析演習に取り組む	1. 統計分析ソフトウェアを用いて、起算統計量の算出やグラフ作成を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる	○							○	○						
		2. 推測統計の基本的な考え方を説明することができる	○									○					
		3. 統計分析ソフトウェアを用いて、t検定、相関分析、カイニ乗検定を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる	○							○						○	
データサイエンス発展	多変量解析の基礎を学び、卒業研究等で必要な統計的データ処理を正確に実行するための技術を習得する	1. 因子分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる	○							○	○						
		2. 重回帰分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる	○							○	○						
		3. クラスター分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる	○							○	○						
ビジネスデータ分析基礎	統計を理解し、使いこなすために必要な「統計リテラシー」の習得	1. 記述統計に関する基礎知識を身につけ、適切にデータを扱うことができる	○							○	○						
		2. Excelを用いて、データを数値やグラフで適切に要約できる	○							○	○						

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3箇まで													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
		3. インターネットから公的統計データ等を入手し、適切に活用することができる			○					○						

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3箇まで													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
教育原理	教育の理論と実践の関係を把握する	1. 教育の社会的意義と目的を理解している	○													
		2. 教育の思想と歴史を理解している	○													
		3. 初等教育制度・中等教育制度・高等教育制度の社会的機能を理解している	○													
教育心理学	幼稚・児童及び生徒の心身の発達・学習の過程(障害のある幼稚・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	1. 教育心理学の様々な領域における基本的な知識を習得する	○										○	○		
		2. 教育心理学的立場の見方を理解できる		○									○	○		
		3. 教育心理学を実践と結びつけながら考へ、相互の理解を深める		○									○		○	
特別支援教育	小学校・幼稚園等の教員免許状取得を目指す学生として、特別支援教育の意義、制度の仕組みおよび生徒の理解と支援の方途の概要を身につける。	1. 特別支援教育の理念や目標を理解する。	○													
		2. 具体的な支援・指導の在り方を検討する。													○	
		3. 教育支援計画、個別の支援計画、組織的な連携の在り方について理解する。												○		
教育の制度・運営	学校教育を支える主要法令の理解、教師の力量育成・向上方策、学校教育を巡る争訟の理解と対応力の育成	1. 学校教育などの主要関係法令の理解		○								○				
		2. 教師の主要能力とその育成構造の理解		○								○		○		
		3. 学校教育の争訟事例と教育改革の動向理解												○		
多文化理解	ことば、文化、アイデンティティの問題に焦点をあて、多文化共生と教育について考える	1. グローバル化がもたらした日本社会への影響に気づく	○			○						○				
		2. 「ことばと文化のはざまで生きる」ことを当事者の視点から考える	○			○						○				
		3. ハイブリディティをもつ固有の文化的存在への共感を育む	○			○						○				
人権教育	人権尊重の精神を堅持して、適切な権利行使ができる実践的指導力の育成	1. 人権の概念と人権教育の重要性の理解	○	○												○
		2. 人権感覚を育て、人権尊重の実践的思考力の強化											○	○	○	
		3. 人権関連の国際法と国内法の概要理解	○	○												○
生涯学習	社会教育を中心とした生涯学習の多様な形態との課題を知り、生涯に渡って学び続けることのできる社会のあり方の考察を通じて、学習という行為の本質的理解を目指す。	1. 学校教育、社会教育、家庭教育ならびに地域コミュニティの連携に基づく生涯学習社会の意義と役割について、法的制度の側面から理解している	○	○	○											
		2. 学校教育、社会教育、家庭教育ならびに地域コミュニティの連携に基づく生涯学習社会の意義と役割について、地域活動の側面から理解している										○		○	○	
		3. 地域における生涯学習の具体的なあり方について実態を認識している										○		○	○	
メディカルクラークⅠ	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目指す	1. 医療保険制度の基礎知識を理解できる		○	○											
		2. 診療報酬の基礎知識を理解し点数計算算定ができる		○								○				
		3. 診療報酬明細書の記載要領を理解できる		○		○										
メディカルクラークⅡ	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目指す	1. 医療機関において患者接遇・受付の基礎ができる		○								○	○			
		2. 診療報酬の基礎知識を理解し点数計算定ができる		○								○				
		3. 診療報酬明細書の記載要領を理解できる		○	○											
メディカルクラーク応用	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目指す	1. 診療録(カルテ)を正しく読むことができる		○		○										
		2. 診療報酬明細書の誤りを発見できる		○	○											
		3. 医療事務技能審査に向け時間内に向けての解答できる		○		○										
ドクターズクラークⅠ	医師事務作業補助技能認定試験=ドクターズクラークの資格取得を目指す	1. 医療保険制度・医療関連法規を理解できる		○												
		2. 医学一般・薬学一般を身につける		○												
		3. 各種医療文書を作成できる		○	○							○				
ドクターズクラークⅡ	医師事務作業補助技能認定試験=ドクターズクラークの資格取得を目指す	1. 医療保険制度・医療関連法規を理解できる		○		○										
		2. 医学一般・薬学一般を身につける		○												
		3. ヒューマンスキル・ビジネススキルを身につける		○								○	○			
健康政策特別演習Ⅰ	公務員試験の合格を目指すための、社会科学に関する基本的な知識を身につける	1. 政治・法律の基礎的な知識を身につける	○													
		2. 経済の基礎的な知識を身につける		○												
		3. 社会の基礎的な知識を身につける		○	○											
健康政策特別演習Ⅱ	公務員試験の教養試験において必要となる自然科学の知識を身につけ、それらを現実の試験に対応させ得る力をつける	1. 数的推理、判断推理の基礎知識を身につける										○				
		2. 自然科学(特に地学・生物)の知識を身につける		○											○	
		3. 過去問題や演習に多く触れ、実際の試験問題の傾向を捉える		○											○	
健康政策特別演習Ⅲ	公務員試験の教養試験で必要な人文科学の知識を身につける	1. 文章理解の基礎的な知識を身につける				○										
		2. 日本史・世界史の基礎的な知識を身につける		○									○			
		3. 地理の基礎的な知識を身につける		○												
健康政策特別演習Ⅳ	公務員試験の合格を目指すために、自治体が求める人材像を理解し、必要な知識・技能・態度を身につける	1. 公務員試験で求められる知識を理解し、実践力を養う	○		○		○									
		2. 公務員試験で求められる知識・技術・態度を面接で表現できるようにする											○		○	
		3. 公務員試験で求められる知識・技術・態度を論文で表現できるようにする				○								○		○